

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		個別にサポートを必要とする利用者様が多い日は、職員の数を多く配置せざるを得ず、活動スペースに対して収容人員が多くなる場合があるが、安全を担保するためには仕方がないこと。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	職員の配置は予約数の二分の一プラス1名を配置し支援に当たっている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		段差のない活動スペースと、分かりやすい動線や掲示で環境を整備している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		活発に活動する利用者と静かに過ごしたい利用者を分けて支援している
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		体調不良や、横になって休みたいとき、またクールダウンが必要と思われる時の為の部屋があり、職員の見守りの中で利用できるようにしている
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎月事業所会議を行い、また業務分担を明確にし、会議において意見交換や報告を行い、全職員で改善すべき点を共有する機会を設けている
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様から頂いたご意見を全職員が共有できるよう回覧しまたご意見に対する改善点等の話し合いを事業所会議にて話し合い改善に務めるようにしている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員の意見を全職員が共有できるよう回覧し意見に対する改善点等の話し合いを事業所会議にて話し合い、改善に務めるようにしている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	第三者との連携が取れていない。新体制を検討中。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		児発管をはじめ各専門職がファシリテーターになり、研修を行っている。また外部研修については、職員からの希望申請により受講してもらっている
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		現在、作成中。公表は3月下旬には公表予定
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		児発管を中心にサービス計画を立てている
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児発管を中心にサービス計画を立てており、また計画に沿った支援を全職員で行っている
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		児発管を中心にサービス計画を立てており、また計画に沿った支援を全職員で行っている
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4	業務によっては標準化されたツールを用いており確認して支援している

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ご本人に必要なと思われる支援や保護者様からのニーズを踏まえ、支援内容を設定実施している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		月一回の会議で話し合い立案する仕組みになっている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	月一回の会議で話し合い立案する仕組みになっている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児発管、専門職、5年以上の実務経験があるスタッフを中心に個々の利用者様についての話し合いを行い、個別と集団の組み合わせを検討している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝の朝礼とパートさんが出勤する13時に打ち合わせを行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	ご自宅お送りの関係で、当日中に振り返りができないことが多くその時は翌日の朝礼で振り返りを行っている。また指導記録簿に詳細を記入し、支援に携わらなかった職員にも共有できるようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の活動内容を含め、支援計画に沿った内容の指導記録を毎回記録している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		児発管を中心に行っている。児発管以外の職員が意見を言いやすい環境が整っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8		地域交流の機会の提供を除く複数の組み合わせた支援を行っている。地域との交流はないが、施設周辺地域の清掃活動や、花壇を設置し手入れをプログラムに組み込む等で地域とのつながりを持っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自分で遊びを選べない場合には、選択肢を提示して選べるように環境をととのえている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		基本は児発管が会議に出席しているが、シフトを調整し子どもの様子をよく知るものが出席するようにしている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて関係各機関との連携を図っている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		直接学校と連携を取れない場合もあるが、その時は保護者様を通して学校との連絡調整を行っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		8	これまで就学前に利用していた施設と連携を取らなければならなかったことがない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		令和六年度に初めて卒業生を送りだすため、これまでは情報提供の機会がなかったが、3月に移行支援会議に出席し情報提供を行う予定がある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8	今後助言を受ける機会を設けられるように計画していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8	今後プログラムに盛り込むことを検討したい

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7	管理職以上の職員でシフトの調整ができる場合には参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		ご自宅お送り時には必ず保護者様への申し送りをい情報をお伝えしている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	令和7年度夏にFPによる保護者様向けのセミナーを予定している
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		管理者や児発管から丁寧に説明させていただいている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者様のニーズや利用者様の要望は、いつでも伺えるような仕組みを整えている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		施設にお越しいただいたり、ご家庭を訪問したり、それができない時は電話等で必ず説明してから同意していただいている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者様から相談を受けた際は、真摯に対応させていただいている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	今まで保護者会の設立の要望がなく保護者会は開催していない。改めて、保護者会の必要性を確認し、ニーズがあれば開設を検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情への謝罪を速やかに行い、問題解決に努めている。また、職員全員で問題を共有し、再発防止に取り組んでいる
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月初旬にお便りを全家庭にお配りしている。また活動についてはHUGを使いご家庭へお知らせしている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いの重要性を入職時に必ず職員に伝え、また定期的にフィードバックしている
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		ジェスチャーや絵カードを用いて意思の疎通を図れるよう配慮している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	今後、実施の方向で検討していきたい
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルの作成をしており、いつでも保護者様に見ていただけるよう準備している
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し避難訓練を定期的に行っている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		服薬や発作時の対応については、保護者様から詳細をお伺いし、必要時にはすぐに対応できるように全職員で周知している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	4	医師の指示書ではなく、保護者からの申し出で対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的に避難訓練等の対策を講じている。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	保護者だけでなく関連事業所（相談支援事業所等）にも必要に応じて個人情報に配慮して情報共有を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	作成し、法人内の事業所間で共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	定期的に研修会、ミーティングを開催し、虐待防止についての知識向上を図っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	身体拘束に関わる話し合いを行い、保護者様からの了解を得たうえで、個別支援計画書にも盛り込んでいる。

保護者向け

## 放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	7	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	4	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	4	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1	2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	4			
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1			
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	19	3			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	3			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2	1		
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	12	8		
保護者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	13	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	3			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2	1		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	12	9		
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	5	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	2			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	4			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	7			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	5			
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	4			
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	3			

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キラキラ萩野町		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	合理的な動線に配慮し、構造化された活動スペースで、狭くてもそれぞれの利用者がパーソナルスペースを確保できる環境	利用者の安全を第一に考え、死角を作らない職員の配置に配慮している	キラキラの他店舗と連携し、利用者の特性ごとに必要な支援ができる仕組み作り
2	保護者の方々への、日々の支援内容を、都度お話しし、また月に一回発行している通信に写真を掲載し、事業所での様子を伝えている。また写真掲載については、事前にアンケートを実施し、掲載の可否を確認して肖像権問題に配慮している。	肖像権の問題を含め、個人情報の取り扱いについては、配慮している。ご自宅お送りの際、外で利用者の名前を言わないことや、プライベートの時に利用者に出会った時の	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	積極的な地域との連携や保護者会の設置、支援を行えていないところがある	・事業所近隣の清掃活動や、事業所前に花を植える等の活動は行っているものの、近隣にお住まいの方々の交流は挨拶程度しかなく興味も持たれていない状況。 ・保護者から保護者会のニーズがなく、設置を見合わせていた。	・近隣にお住まいの方々に受け入れていただけるような催しを計画する。 ・保護者会の必要性を、改めて保護者の皆様にお伺いする。
2			
3			



公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス キラキラ萩野町

公表日 2025年2月19日

利用児童数

33 年月日

回収数31

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	7	1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	4	1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	4	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	4				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	3				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	3				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	3				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	1			
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	12	8				
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	13	5			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	19	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2	1			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	12	9				



	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	5	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	2			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	7			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	5			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	4			
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス キラキラ秋野町

公表日 2025年 2月19日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		8		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		8		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				